

平成29年度第2回地域包括ケアシステム連絡協議会

多摩区事例発表

住民主体による課題解決の取組

～平成28年度 モデル事業による展開～
かりがね台自治会



多摩区における地域包括ケアシステム推進体制

- 区を5つの社協地区に分け、それぞれの地域特性に応じた地域づくりの推進



菅・・・町会ヒアリング・ニーズ調査

中野島・・・中野島多世代つながり
愛プロジェクト

登戸・・・町会ヒアリング
ニーズ調査・ニーズの実現

稲田・・・町会ヒアリング
小地区での取組を検討

生田・・・モデル事業の波及

生田地区町連との連携

生田地区の特徴

- 地区の高齢化率 21.3%（多摩区全体 19.1%）
- 社協地区＝生田地区町会連合のエリア
- 生田地区町会連合会に63町内会・自治会が加入
- 町内会・自治会の規模は大小さまざま
- かりがね台自治会をはじめ独自の取組も盛んで、活動熱心な町内会・自治会が多い
- 地区町連と連携し、地区全体で地域包括ケアシステムを進めて行くことが生田地区の地域づくりの中心

（地区の高齢化率は平成29年3月末現在）

（区の高齢化率は平成28年10月1日現在）

生田ご近所パワーアップ会議

町内会・自治会から推薦を受けた人を対象にした連続講座

※生田出張所、区企画課と連携して実施

第1回

平成29年
9月20日
(水)

22町内会・自治会 33名参加

事例紹介 **かりがね台自治会、**

大谷自治会、葉月町会

グループワーク(課題共有と解決のアイデアの検討)



第2回

平成29年
11月7日
(火)

15町内会・自治会 23名参加

事例紹介 長沢自治会

グループワーク

(課題解決のアクション検討)



相談会・報告会

かりがね台自治会

<平成28年度モデル事業>

会 長 本多 武夫

副会長 石井 勲

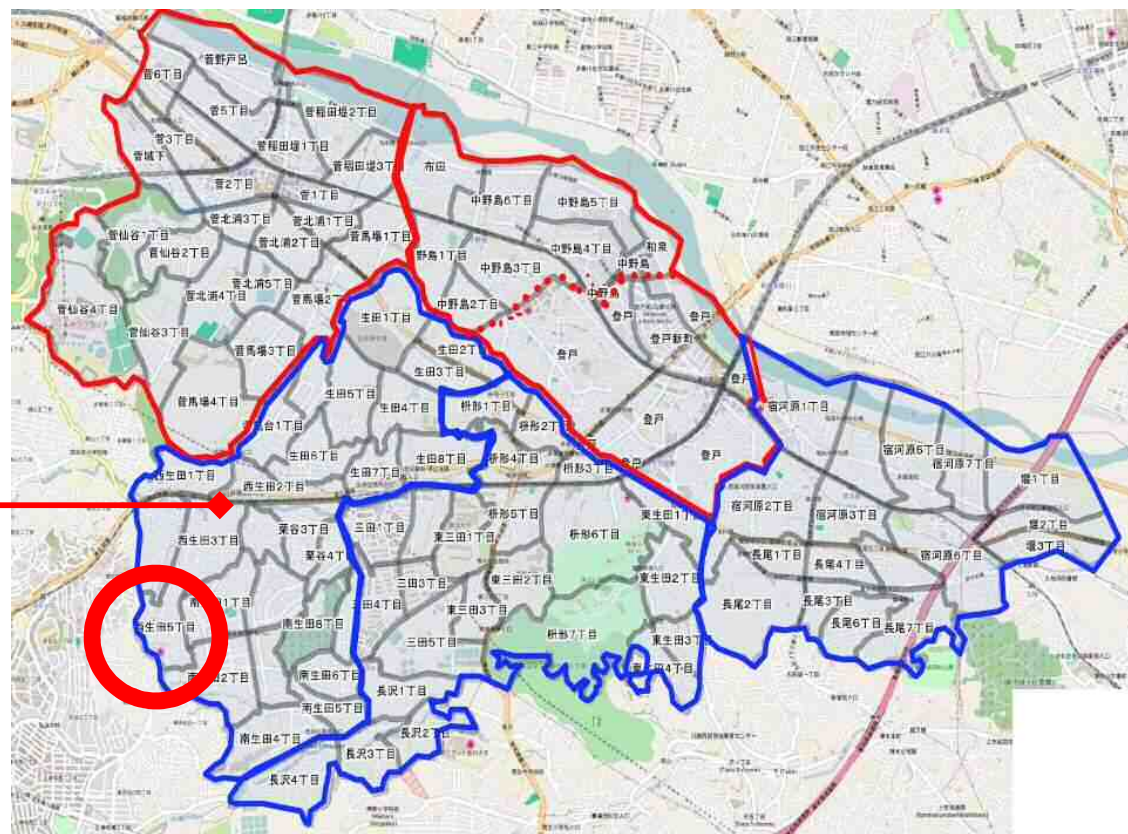
副会長 向井 常雄



かりがね台自治会について

- 世帯数：780世帯 ※平成29年現在
- 位置：西生田5丁目（多摩区の南西）
最寄り駅は小田急線読売ランド前駅

読売ランド前駅



まちの課題

- エリア全域がほぼ斜面地となっている
→坂道や階段が多く、道が狭い。
- 子どもが遊べる公園や、高齢者等が一休みできる場所が少ない。
- 商店が減少し、買い物のために坂を降りていかななくてはならないことは、高齢者に負担となっている。



地域包括ケアシステム モデル地区

- 区内の地域活動に役立てるノウハウを抽出することを目的に、地域活動が活発な「かりがね台自治会」は地域包括ケアシステムのH28モデル地区に選定し、以下のことを実施。
 - ①全世帯に向けたアンケート(228世帯)
 - ②キーパーソンヒアリング(17件)
 - ③納涼大会でのオープンワークショップ(1回)
 - ④課題解決ワークショップの開催(3回)

②キーパーソンヒアリング

- 自治会の役員等へのヒアリングや、オープンワークショップなどで得られた情報を元に、ヒアリング対象者を発掘する「スノーボール・サンプリング方式」で、計17人のヒアリングを実施した。



②キーパーソンヒアリング

- 利用可能な地域施設の発見:ヒアリングを通して、老人ホームの多目的ホールの活用につながった
- 地域活動のキーパーソンの発見:地域コーディネーター、花壇づくり活動、御神輿活動、交流カフェ運営、障がい者施設、子ども支援活動、大学連携、地域医療等様々な活動との連携の可能性が見出された
- 地域課題の確認:子育て層の課題、高齢者層の課題などが確認できた

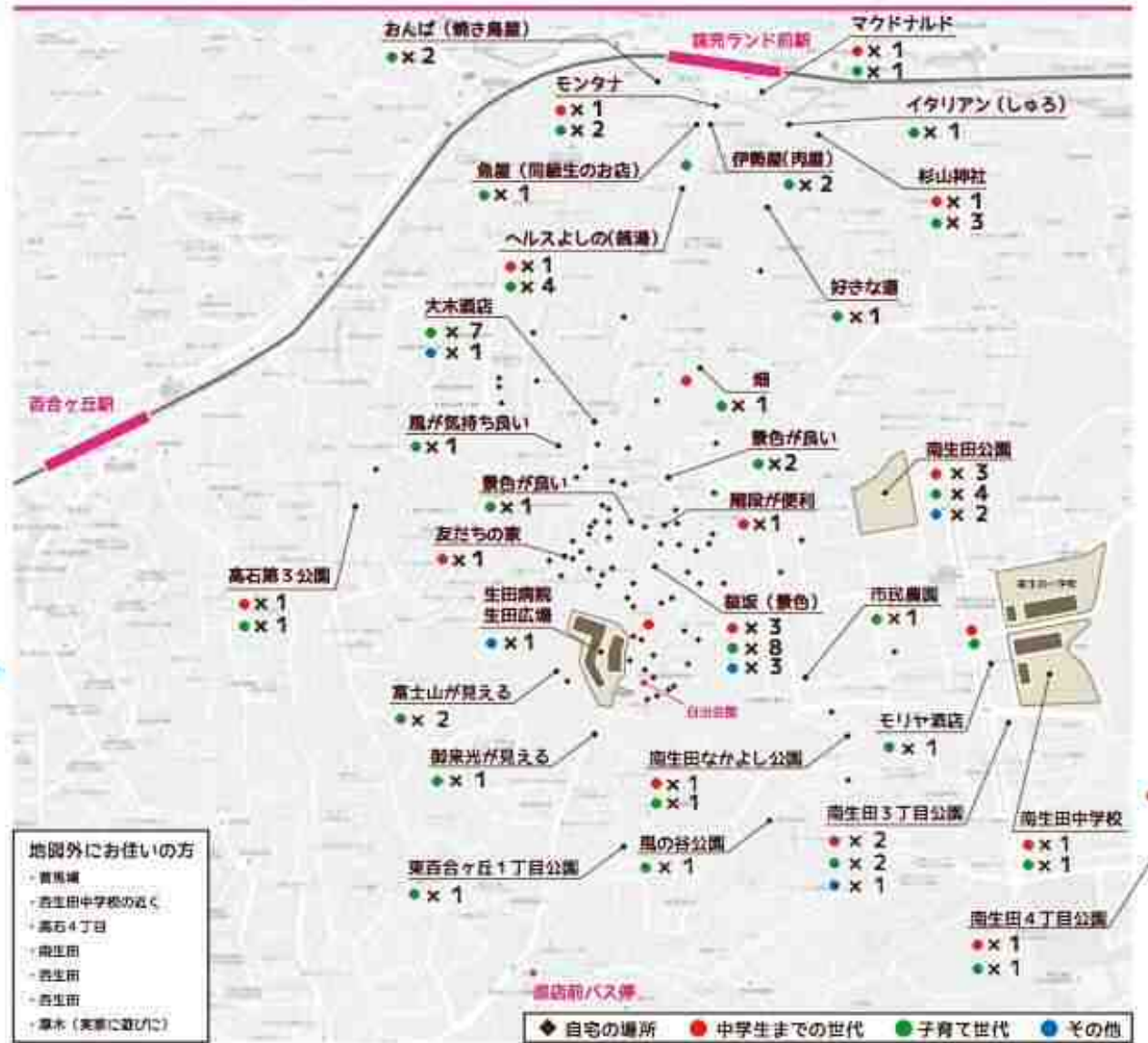
③納涼大会でのオープンワークショップ

- 自治会主催の納涼大会にて、地図を使って「お気に入りの場所」と「こんなまちになったらいいな」を参加者にヒアリングした。



③納涼大会でのオープンワークショップ

[かりがね台のお気に入りの場所]を教えてください!



③納涼大会でのオープンワークショップ

【こんなまちになったらいいな】を教えてください！

◆ 坂道に一休みできる場所があるといい		● x 10 ● x 14 ● x 1
◆ 気軽に集まれる場所があるといい		● x 1 ● x 9 ● x 1
◆ 買い物の便利になるといい		● x 9 ● x 24 ● x 4
◆ 外出しやすいまちになるといい		● x 2 ● x 3 ● x 1
◆ 地域の人同士のつながりができるといい		● x 5 ● x 4 ● x 3

● 中学生までの世代 ● 子育て世代 ● その他

④課題解決ワークショップの開催

主催 多摩区役所

かりがね台 アイデア 井戸端 会議

まちの将来を
みんなで語ろう！考えよう！

このまちで暮らしていて、あいさつし合える人、困ったことを相談できる相手はいますか？
また、気にかけている人、助けを必要としている人はいますか？
高齢化が進む中、ちょっと先の未来を想像しながら、地域で助けあいまちを良くするステキなアイデアをみんなで考えてみませんか？



1 **10/16** 日
13:30～16:30
5年後のかりがね台を考えよう！
5年後の未来を想像してみてください。かりがね台の様子はどうに変わっているのでしょうか？みなさんに協力いただいたアンケートやデータを基に、お年寄りや子育て世代をはじめ地域が抱える課題を考え、みんなで解決のアイデアを出し合います。
締め切り：10月7日(金)

2 **11/13** 日
13:30～16:30
アイデアを実現させるための作戦を考えよう！
1回目を出し合ったアイデアの中で、すぐにでもできそうなことを地域で始めてみませんか？
ポットラックパーティ（お持ち寄りお茶会）形式で、具体的にアイデアを実現するための作戦会議を開きます！
締め切り：11月4日(金)

対象：西生田5丁目にお住まい、または仕事や地域活動をされている方
定員：先着50名（申込制）
参加費：無料
場所：特別養護老人ホーム 生田広場
川崎市多摩区西生田5丁目24-2



生田病院の隣です
生田病院
生田広場
かりがね台自治会集会所
バス場

申込方法
電話またはファクス、Eメールで受け付けいたします。
ファクスの場合は裏面の申込用紙を送信してください。
Eメールの方は裏面の必要項目を本文に記載の上、送信してください。電話の方は平日（8:00～17:00）のみ受け付けいたします。

保育有り
有料20名

問い合わせ（9:00～17:00）
〒214-8570 川崎市多摩区登戸 1775-1
川崎市多摩区役所地域ケア推進担当（小玉、澤野）
電話：044-935-3241 | ファクス：044-935-3278
Eメールアドレス：71keasui@city.kawasaki.jp

- ヒアリングやアンケート等を通してつながった方々に向けて、課題解決のためのアイデアを出し合い、アイデアの実現を目指すことを目的としたワークショップを開催した。

④課題解決ワークショップの開催

1回目

H28/10/16
(参加者29名)

5年後のかりが
ね台を考えよう

2回目

H28/11/13
(参加者25名)

アイデアを実現
させるための作
戦を考えよう

3回目

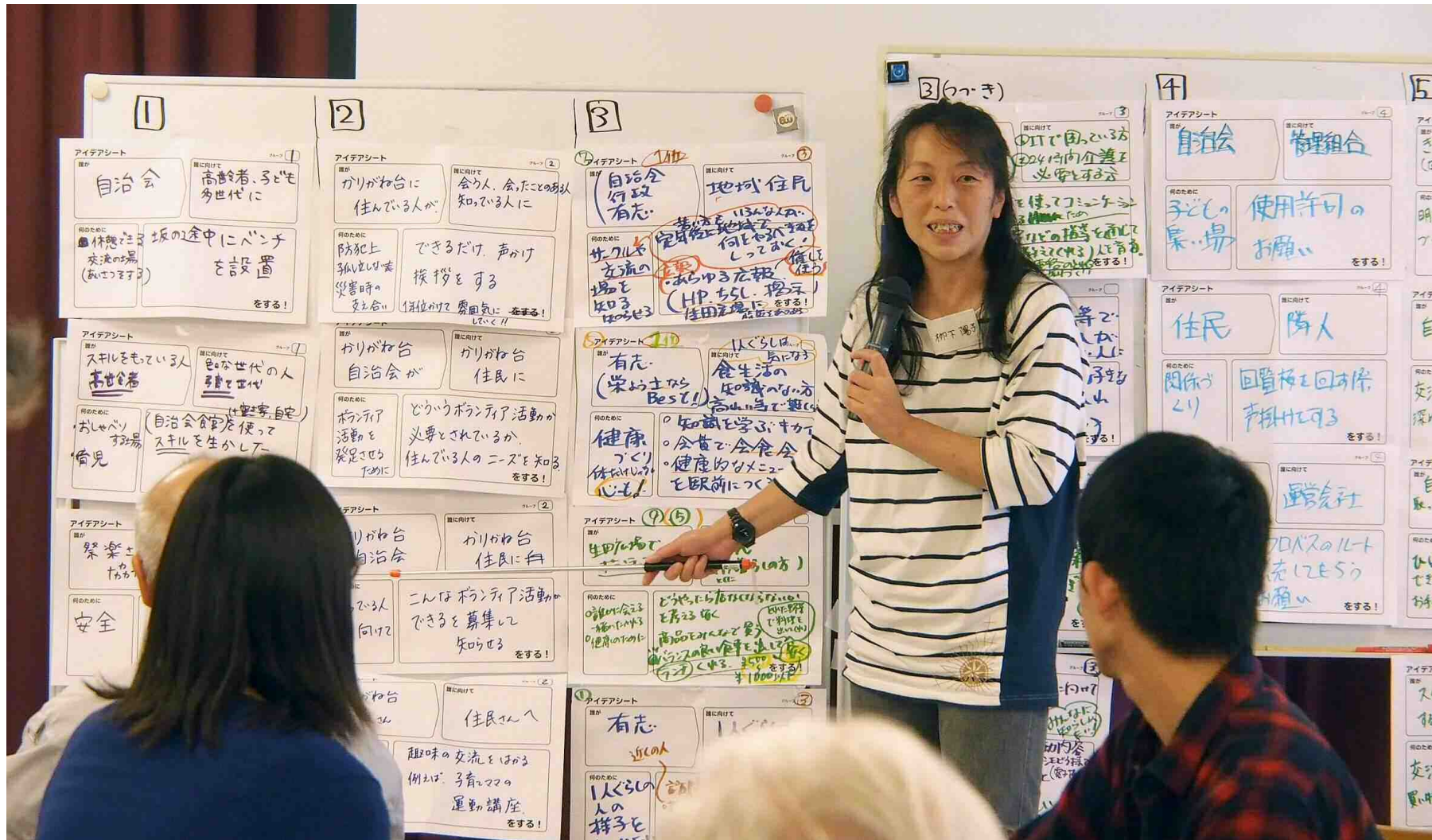
H29/1/22
(参加者27名)

報告会
(進捗状況の共
有)



1回目は、23枚の

アイデアシートが発表されました！



23のアイデアシートは大きく
5つに分類できました。

交流の場づくり

スキルの
活用

移動・
買い物支援

声かけ・
見守り

情報発信・
情報交換

2回目は、実現したいアイデアに優先度をつけて 5つのグループで企画づくり

第1回 かりがね台アイデア井戸端会議 (10/17) アイデアシート

No.	誰が	誰に向けて	何のために	何をするの?	コメント/実現度
1	町民	高齢者、子ども、子育て	高齢者や子育て世代の交流の場をつくる	高齢者や子育て世代の交流の場をつくる	24
2	町民	高齢者	高齢者の生活の質を向上させる	高齢者の生活の質を向上させる	2
3	町民	高齢者	高齢者の生活の質を向上させる	高齢者の生活の質を向上させる	1
4	町民	高齢者	高齢者の生活の質を向上させる	高齢者の生活の質を向上させる	1
5	町民	高齢者	高齢者の生活の質を向上させる	高齢者の生活の質を向上させる	1
6	町民	高齢者	高齢者の生活の質を向上させる	高齢者の生活の質を向上させる	1
7	町民	高齢者	高齢者の生活の質を向上させる	高齢者の生活の質を向上させる	1
8	町民	高齢者	高齢者の生活の質を向上させる	高齢者の生活の質を向上させる	1
9	町民	高齢者	高齢者の生活の質を向上させる	高齢者の生活の質を向上させる	1
10	町民	高齢者	高齢者の生活の質を向上させる	高齢者の生活の質を向上させる	1
11	町民	高齢者	高齢者の生活の質を向上させる	高齢者の生活の質を向上させる	1
12	町民	高齢者	高齢者の生活の質を向上させる	高齢者の生活の質を向上させる	1
13	町民	高齢者	高齢者の生活の質を向上させる	高齢者の生活の質を向上させる	1
14	町民	高齢者	高齢者の生活の質を向上させる	高齢者の生活の質を向上させる	1
15	町民	高齢者	高齢者の生活の質を向上させる	高齢者の生活の質を向上させる	1
16	町民	高齢者	高齢者の生活の質を向上させる	高齢者の生活の質を向上させる	1
17	町民	高齢者	高齢者の生活の質を向上させる	高齢者の生活の質を向上させる	1
18	町民	高齢者	高齢者の生活の質を向上させる	高齢者の生活の質を向上させる	1
19	町民	高齢者	高齢者の生活の質を向上させる	高齢者の生活の質を向上させる	1
20	町民	高齢者	高齢者の生活の質を向上させる	高齢者の生活の質を向上させる	1



実現したいアイデアに優先度をつけて5つのグループで企画づくり

- 1 集会所の活用を通じた人の交流の場をつくらう!!
- 2 若者の力と連携して、雪かきなど、まちの困りごとを解決する!!
- 3 まちの協力関係を強めるために、声かけと声かけの場を設けよう!!
- 4 A'の設置を通じて、まちに休憩の場をつくらう!!
- 5 食を学ぶ、食を提供し合える機会や場づくりを考えよう!

かりがね台 第2回アイデア井戸端会議 11/13

実現したいアイデアに優先度をつけて5つのグループで企画をつくりました。

5つの企画シートが完成!

1 全住民のため!
「カリがねプラザ」
▶ 全住民のため!
▶ スパや2階、ビラリス
▶ 中村七、銀座一
▶ 場所: 自治会館
全田会場
商店街
▶ 既存のスペースの活用!!
▶ 自主運営!
▶ 自主運営
▶ 自主運営
▶ 自主運営

2 業界に
「カリがね月夜箱」
▶ 助けが必要といる人
▶ 支え合いの4ポイント!
▶ 情報のSOS
→ 祭典の活用!!
▶ 雪が降ると苦しい
▶ 掲示板
▶ おまわり隊
▶ YouTube etc
▶ ボランティアの募集
EPR
▶ 自主運営 → 祭典
▶ 直営

3 町会バザール
「町会バザール」
▶ 町会バザールの告知
▶ バザーは100円で
希望者に販売
▶ 行った人
▶ 町会
▶ バザー
▶ 町会バザール
▶ 町会バザール
▶ 町会バザール
▶ 町会バザール

4 町会交流は
「町会交流は」
▶ 町会交流の告知
▶ バザーからコミュニケーション
▶ 町会交流の告知
▶ バザーからコミュニケーション
▶ 町会交流の告知
▶ バザーからコミュニケーション

5 食を
「食を」
▶ 食を
▶ 食を
▶ 食を
▶ 食を
▶ 食を
▶ 食を
▶ 食を
▶ 食を
▶ 食を

3回目は、報告会を開催 企画の進捗状況を共有しました



主催 多摩区役

かりがね台 アイデア井戸端会議 【報告会】

「まちの将来をみんなで語ろう！考えよう！」をテーマに、「10/16(日)」「11/13(日)」の両日、生田広場で西生田5丁目にお住まいのみなさまと、地域の課題を出し合い、解決のアイデアを検討する会議を行いました。この会議の後、アイデアを実現するため、参加者のみなさまが主体的に活動を始めていると伺っています。そこで、今回、最近の活動状況や、今後活動を進める上でのポイントなどについて話し合う、「かりがね台アイデア井戸端会議 報告会」を開催したいと思えます。みなさまと行政とで、地域で助け合いまちを良くするステキな取り組みの今後を共有しませんか？

締め切り
1月19日

日時 平成29年1月22日(日) 午前10:00～正午
会場 かりがね台自治会 集会所(西生田5-26-2) ※生田広場ではありません
申込 電話、Eメールまたはファクス(裏面申込書)で下記問い合わせ先まで。
電話の方は、平日(9:00～17:00)をお願いします。
Eメールは、裏面の必要事項を記載の上、送信ください。
※既に、当方からのお電話で、出席について伺った みなさまにつきましては、改めての連絡は不要です。

主催・問合せ
多摩区役所地域ケア推進担当(小玉・澤野)
電話 044-935-3241
ファクス 044-935-3276
Eメール 71keasui@city.kawasaki.jp

こんな動きが生まれています

○坂が多く休める場所がない

→現在5箇所にベンチを設置



個人設置が3箇所、自治会が設置したものの2箇所

こんな動きが生まれています

○御神輿グループの若者パワーで
まちの課題解決を手伝いたい

→まず地域のクリスマス会、新年会に参加して
顔の見えるつながりを。草刈りなどでも活躍。



こんな動きが生まれています

○地域の人の交流の場をつくりたい

→参加者が講師と
なって企画をやって
みようということに

→企画を実践に移す
「井戸端の会」が
立ち上がる



きっかけはピラティス講座。好評のため、3か月に1回のペースで開催。その他、男の料理教室、うちわ絵付け教室など。

こんな動きが生まれています

○生田広場を利用したミニコンサート！

→色々な催しへの参加を通じて、住民同士の交流が深まることが期待できます。



平成29年度に初めて開催！

モデル地区の活動の手応え

1. ヒアリングやアンケートによって、
新たな人材や場所などの資源を把握できた

→若手の団体はこれからの地域の宝！

→場所の活用、団体同士の連携にもつながった

2. ワークショップを開催することで、
自治会役員以外の人材同士が出会いつながる場と
なった

→自治会の拡大理事会とは別に、こうした意見交換
や交流の場があってもいい

モデル地区の活動の手応え

3. まちの課題解決につながる、
23のアイデアと5つの企画が生まれ、住民主体で動き
はじめています。

→自治会のフォローアップ体制も必要だし、全て自治会でやるのではなく、いろいろな主体が取り組めることも大事

→継続的に続けられる様な体制が必要
「井戸端の会」が発足！

ありがとうございました

